君の知らない。
前篇
みちのく アタミ
Atami Michinoku

親友を
犯してしまった

眠ったまま
意識のない彼を
犯してしまった

そこに
罪悪感はあっても

不思議と
後悔の念はなかった

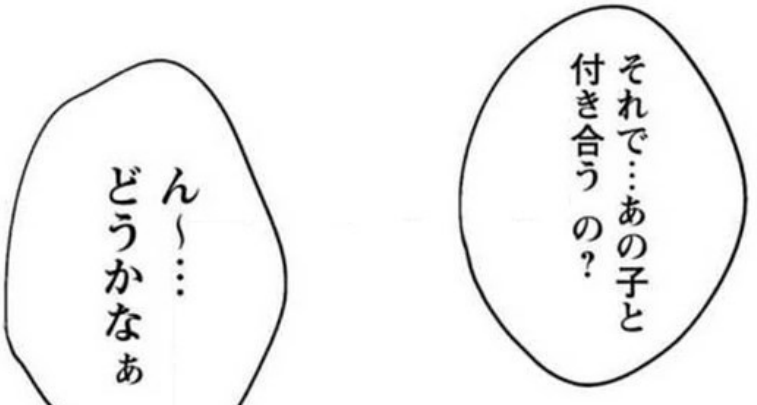
ざわ
ざわ
正人(まさと)ー
ひょっ
！

そっかミウン
わかった
ごめんな

わりー
待たせたな
ううん
話し込んでた
みたいだけど
あー…
先週の飲み会で
一緒だったんだけど
付き合わないかって
言われてさ

…

女の子といるより
お前と遊んでる方が
今は楽しいわ
…そっか
あはは


それで…あの子と
付き合う の？
ん～…
どうかなぁ

お前はどーなんだ？アキラ
え？
好きなやつとかいねーの？ってこと

今 横にいるやつですが
いない かな…
って言いたい！

そうか そーか よかったわ～ お前に彼女できたら家に押しかけられないもんな！
ってことで今日行っていい？
え えぇ～… 焼酎のストックないよ
正人が飲んじゃったから
じゃあ駅前のスーパー寄ろうぜ

想いを当たり前に伝えられるんだから
さっきの…
あの子が羨ましいな…
正人～
ぷよ～…
ぷよ～…

ねっ。
寝汚いっ!!
ふが
ふが
ぐいっ
ほら正人
寝るならもっと
こっち寄って
ぐぐぐぐっ
おっもぃ!!
正人…
起きないと
キスするよ
ほんとにするよ
おーい
いいのか〜

……
ごっ…
本当に…
起きないの…？
初めは
こんなノリで

起きてしまったら
その時は

酒のせいにして
しまおうと
逃げ道を作った

ちょっと
かさついてて
熱い……

これが初犯

アキラ！
ビキッ
な
なに？
お前さぁ
ドーン
あ…うそ
キスしたのバレて……
ズーン

なんで朝起こしてくんねーんだよ！放置かよ!!
ぼっちにするなんてひどい!!
今 学校に着いたっつーの
ごごめんだいぶ爆睡してたから起こしづらくて
許さん!!この侘びとしてそうだなぁ…
わし
っっわ
今度レポート手伝うこと!!飯付きでな
ふえっ高くつきすぎ…
次ぶっ

全く気づいていない
正人の様子が

ぼくの行為を助長させ
止め処を失ってしまい

徐々に

徐々に

はっ
ぐぃ
ぷちゅっ
ぷちゅっ
ぐぃ
はっ
はっ
はっ
はっ
ゆさっ♡
ぷち
ぷち
わ…よかった
正人
意識ないけど
ちゃんと感じて
くれてるね…
ゆさ♡
かわいい…
にゅる
ぐぃ
ぐぃ
ぬち
ぬち
ぬち
ぐぃ
はっ
はっ♡
はっ♡

最初こそは強く
あった罪悪感も
今では薄れてしまった
は、
はっ
くちっ
あー…
きもちい…
それにしても
心配に
なるなぁ
はぁっ
ぷっ
ここまでされても
起きないなんて…
はっ♡
ぴちゃ
はぁっ
起きてたら
どんな声を
出すのかな
ぐっ
意識があれば
どんな顔を
するんだろう
聞きたい…
正人の声が
聞きたい
ぱちゅ
はっ♡

目を開けて
ぼくを見て欲しい
……っ
ぼくを見て
正人……

うぅ〜〜〜…
ってぇ〜
ちくしょー
ズキ
ズキ
おいおい家主も
雑魚寝かよ
なんでベッドの
使わねーの
……
！

ビクッ
ガチャ
ニヤーン
ッ！
正人……？

みちのく
Atami Michinoku
アタミ

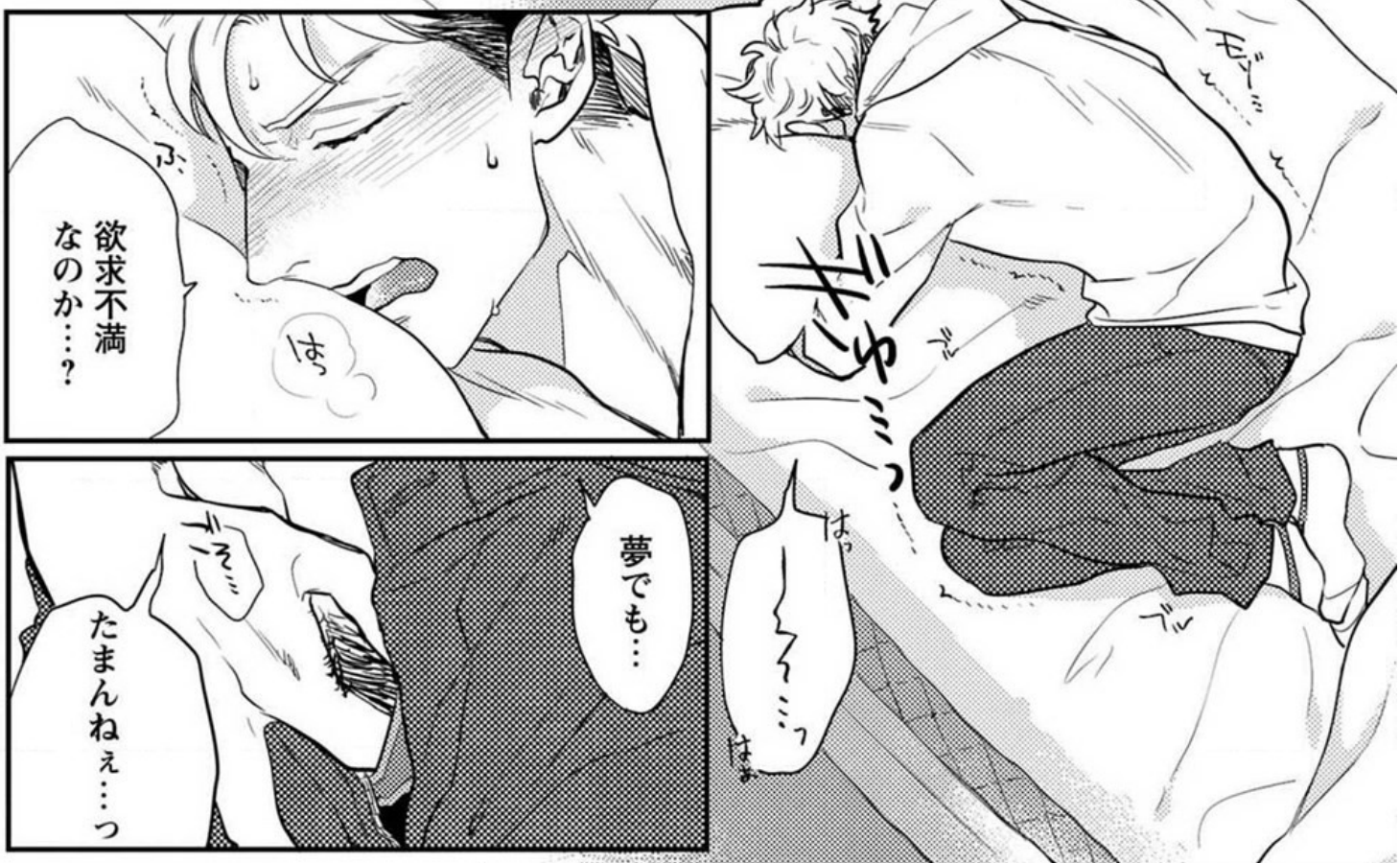
後篇

君の知らない●●

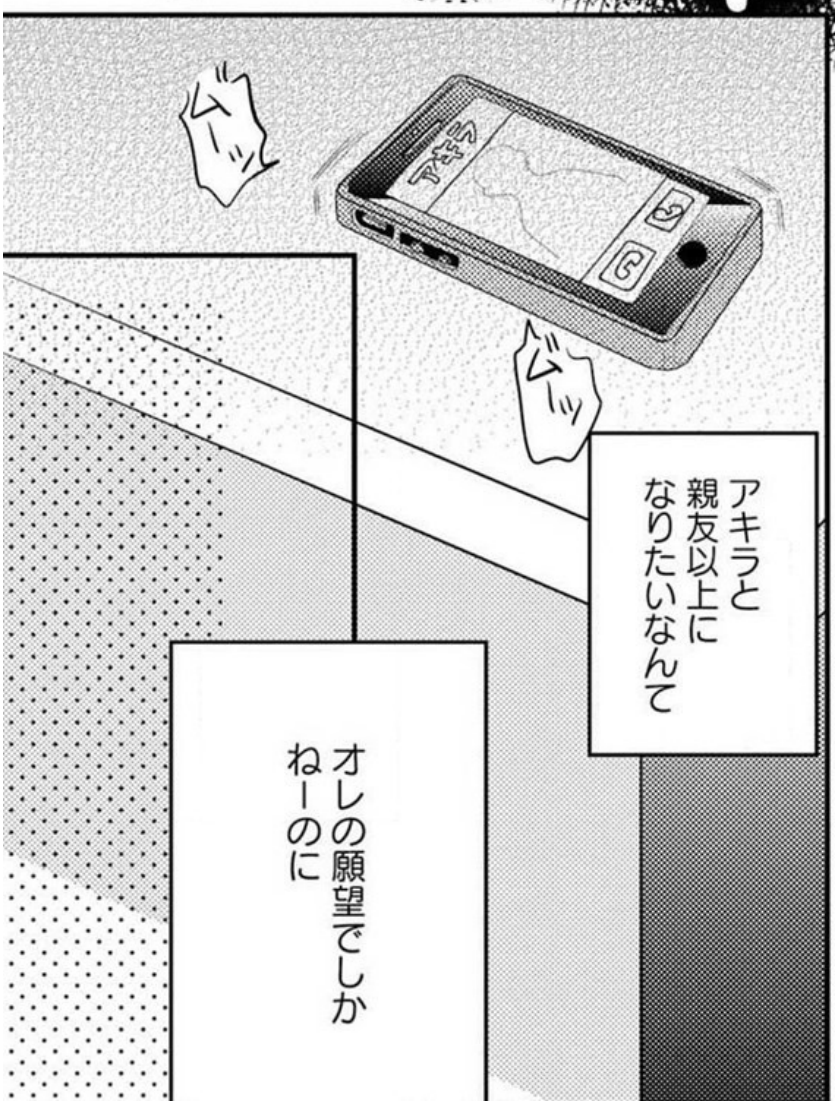
ガチャガチャ!!
しまった
思わず
逃げちまったけど…
ズルッ
これじゃあ…

最低最悪の
ホモ野郎
じゃねーか
マジでない
ないわ…
ばふっ
親友ネタにして
ちんこ
おっ勃てて
それどころか
い 挿入れ…っ

オレ…！


欲求不満なのか…？
はっ
夢でも…
たまんねぇ…っ
はっ
はっ
はっ

ふっ♡
はっ♡
はっ
ドロ…


ブーッ
ブーッ
アキラ
アキラと
親友以上に
なりたいなんて
オレの願望でしか
ねーのに

はー
はー
ブーッ
ブーッ

正人

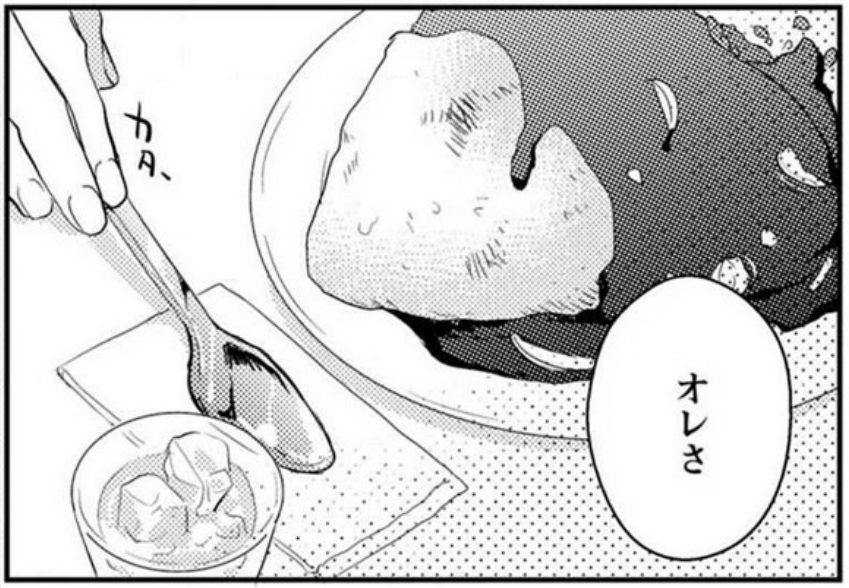
…アキラ

なんで昨日
帰っちゃったの
ガタ
あーミ
バイト先から
連絡があってさ
そのまま通しで
入ってたから
電話も取れなくて

なぁ
アキラ…

ホッ
なんだ
そうだったの

……
なんで？


カタ、
オレさ

なんか変な
寝言とか…
言ってない？

いやっ！
別に深い意味は
ないけど
ほら…
オレ寝相
悪いしさ！
寝言もひどい
かなーって
づこ
づこ
そういえば
言ってたな…
えっ
ギクッ
もうおなか
いっぱいで
食べれないよ～って
おっまえなー！
ふざけてるだろ!?
あはは！
寝言はともかく
正人って
寝汚いよね
ふーミ
ったく
ビビらせんなよ…

正人～!!
どした
お前さ
今日夜は空いてる?
まぁ特に
用事は…
マジ!?
よかったー!!
いや～実は合コンが
あんだけどさ
人が足りなくって!
はっ!?
いや
行くとは
ただ来るだけで
いーって!
半分オレが出すからさ
今日の6時に
池袋東口な!
頼んだぞ
ふぉ
ポンッ
じゃ!!
しゃばっ
アッ
オレの発言権…

がや
がや
ここで寝るなってー！
おいおい正人～
潰れんの早ぇぞ正人ぉ～
爆睡だな
プルルル…
プルルル…
アキラ
どーするよ？
おいてく？
んー…
あそうだ正人の携帯貸して

……？

なんか 口に
当たってる…？

あ

これ

知ってる

夢で見た
アキラの
感触だ…

はっ

はっ

夢…？

またなのか？

ふわふわする

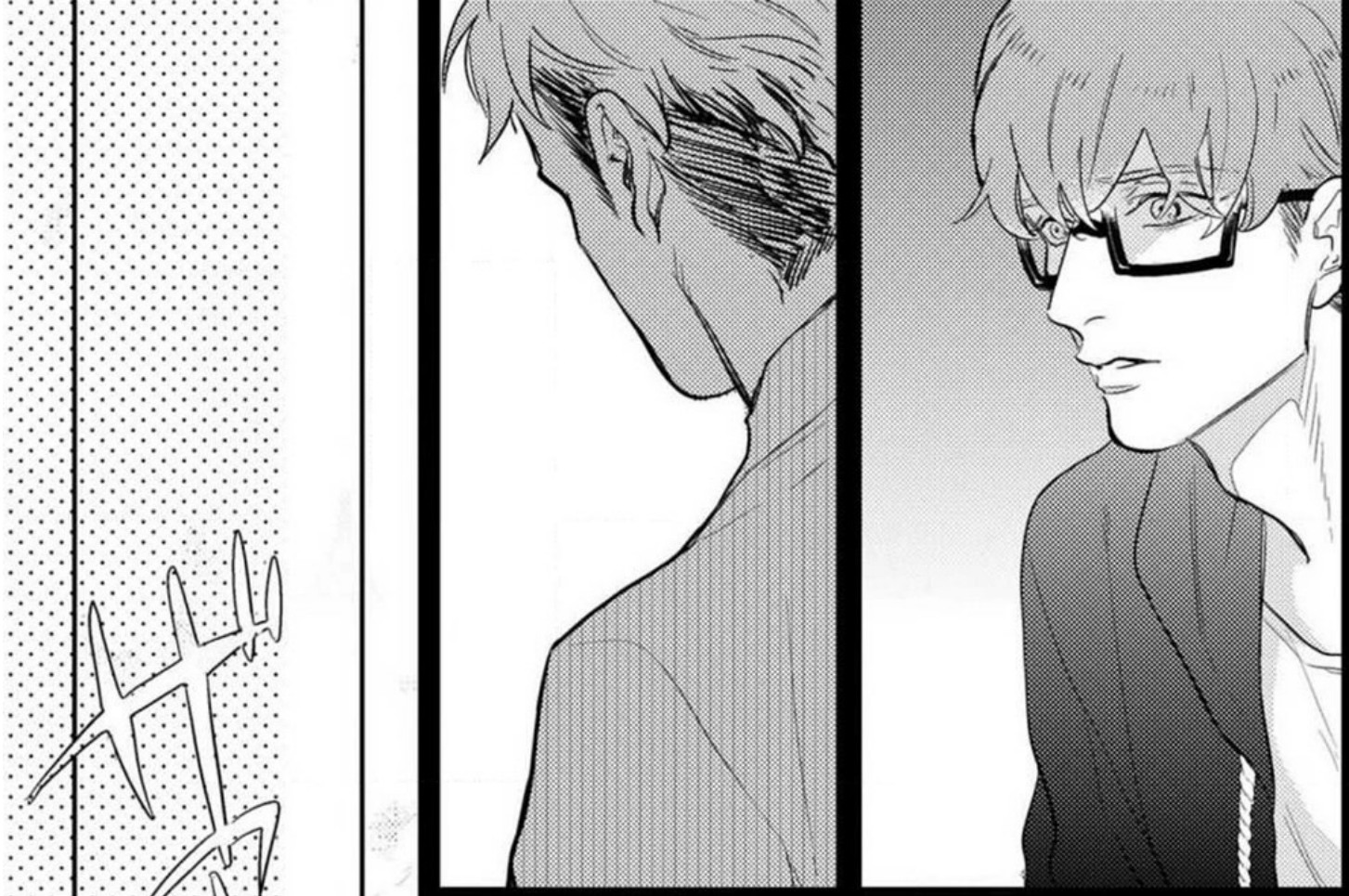
気持ちいい…

違う

だめだ
起きなきゃ
はっ
オレ 飲み屋に
いるのに…
勃っちまう…!!
や…めろ!!

え…
アキラ…？
カタ
カタ
あ…っ！

正人 なんで
いつもなら
起きないのに…
それじゃ…
今までのは
全部…
いつも…!?
…って!
いや それは
正人 あの…
ありえねー



お前が
何考えてんのか
わかんねーよ…

アキラ…

ザザザ…

信じらんねぇ
あのアキラが
知らない間に
オレの身体を…
……
おかしい
オレは 知らない
はずなのに
知っている
はっきりと
アキラの手を
覚えている…

こんな時でもかよ…っ
くそ…っ
ハッ
…っ
なんで…
好奇心かただのいたずらか
もしくは女の代用品か？
なぁ なんでだ
なんでオレなんだよアキラ…！

よ!
二日酔いは
大丈夫か正人~
痩でない
不調っすか…
ほんでもお前
マジで弱いんだな~
うっせ
だからあんま
外で飲まないんだよ
たしかに
いつもアキラん家でしか
飲まねーもんなァお前
ニヤッ

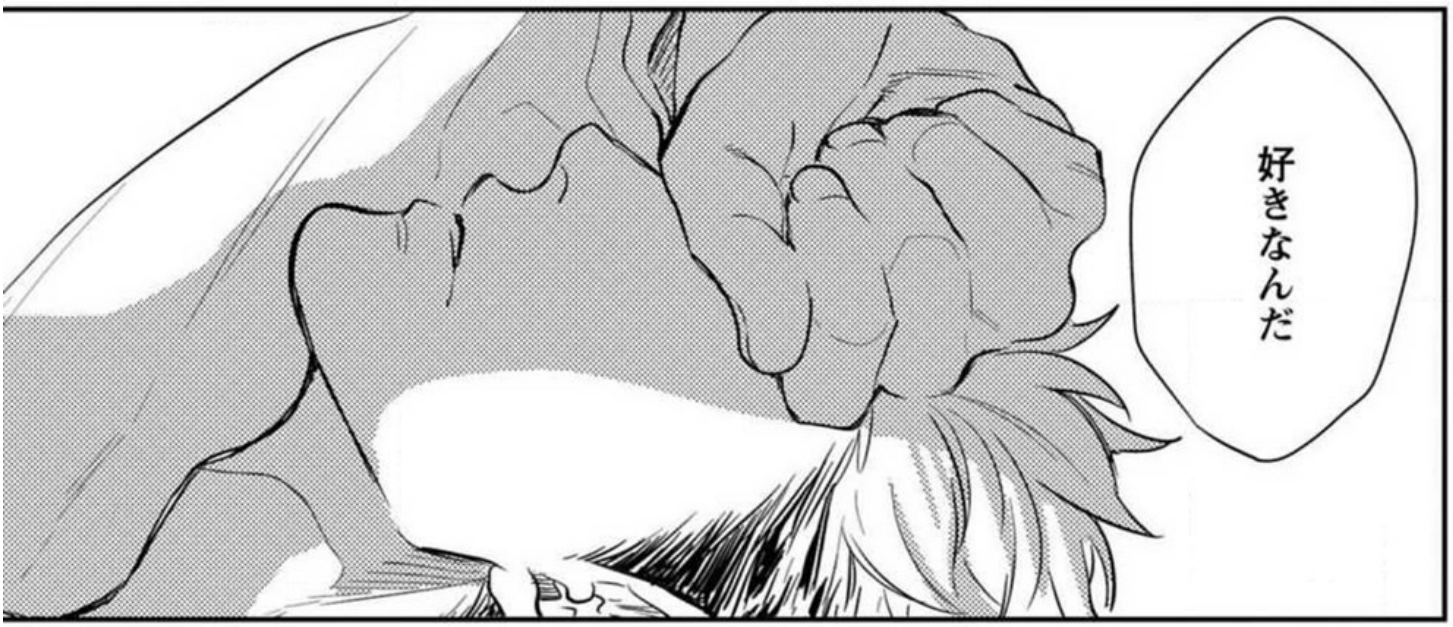
あいつも
コンパ誘っても
ノッてこないし…
…そーなの？
あいつ
枯れてんだよ
彼女作る気は
ないからってさ
……え？
とりあえず
二日酔いには
ウコンだ！ ほれ
…なった後には
意味ねーよ…
じゃ また
講義でな～
彼女は
いらないって…？

やめろよ…
都合よく考えちまうだろーが…！
かなぁ…
もし

もしもの話だ

性欲処理とかのつもりじゃないとしたら…
あいつは

オレのこと…


好きなんだ

起こした？

ごめん正人

自分の気持ちを
伝えるのが怖くて…
ずっと胸の奥底に
しまっておくはずだった
でも…
だめだった
しまってもどんどん
溢れてきちゃって
自分でもこの気持ちが
抑えられなくて
いけないことだと
わかっていたけど
ぼくしか知らない
正人がいて
寝てる間は
ぼくだけの
ものだと思えた
結局…
こんな形で
バレちゃったけど

安心して
もう二度と正人には近づかないから
くっ…？
そうじゃ…
ねーだろ!!

そりゃたしかに
ありえねーと
思ったけど！
嫌いにも
ならねーからな！
気持ち悪いとは
思わねーし
なんでお前は
そうやって…
始める時も終わる時も
ひとりでやっちまうんだよ…！
正人…？

オレにも…
オレの知らない
お前を見せてくれよ！
…っ！

ふ
ふう
ハッ
はっ
さっきのやつ
今度はオレの目を見て
言ってくんね？
アキラ

えっ
はよはよ
……っ
す
すき…だよ
おいおい
さっきはスムーズに
言ってただろ～
ちなみにお前
どこまでヤッたの
おい
……
……
おい!?
おわり